

岐阜工業高等専門学校

第8号(平成17年6月20日発行)

編集：教育後援会事務局

教育後援会通信「ちから」



名鉄揖斐線廃線の代替バス校内に乗り入れ



教育後援会総会（感謝状贈呈式）

ごあいさつ

教育後援会会長 藤 野 勝 司



山の緑も日毎に色こくなる中、皆様いかがお過ごしでしょうか。新入生の方はもちろん新しい学年をむかえられた上級生の学生たちも、除々に日々の生活になじんできた頃ではないでしょうか。

また、この「ちから」が発刊される頃、おそらく子供たちは、前期中間・高専大会に向けての勉強・部活動等、精神的にも肉体的にも疲れがでたり困難にぶちあた

る時期でもあると思います。そのような子供の変化をキャッチしなければならないのが親の努めと思いつつも、子供と会話をするどころか顔を会わすことのない日々も多々ある私は、父親失格ではないかと時折自問自答しています。

この通信創刊にあたり前会長が、“会員皆のための会員皆の後援会という理念のもと個々の会員の力を集め大きな力にして学校を支えていこう”という趣旨で『ちから』とさせて頂いたという事です。

学校を支えていく上で大切なのはやはり子供たちの健全な成長が大前提であります。子供と大人の間でゆれ動き、身近にせまる自分の将来に悩み、小中時代とはちがった意味で、とてもむずかしい年頃ゆえ、親もどのように子供と会話し助言できるか悩んでみえる方もおられると思います。そのような親さんのためにも、近々開設のHPやこの『ちから』でいろんな情報をとりあげお知らせしていけたらと願っておりますので、どんなことでも結構です。としとしご意見をお寄せ下さい。

新任にあたって

新任にあたって



副校長(教務主事) 稲葉 成基

木下前主事の後を受け、平成17年度より教務主事を拝命いたしました。浅学非才の身ではありますが、岐阜高専のために全力を尽くします。ご協力、ご後援のほどをよろしくお願い申し上げます。

岐阜高専に着任して今年で30年目になり、岐阜高専の学生の教育のために尽力することで、故郷の岐阜に少しでも恩返しをしたいと考えています。

JABEE認定及び独法化を経て、岐阜高専は大きく変わりつつあります。任期中にさらに三つの大きな課題に対処する必要があります。ひとつは「学位授与機構による高専の認証評価」であります。JABEE審査の対象は専攻科が主でしたが、認証評価では学校全体が対象となります。本年度中にその準備を終えておく必要があります。次の課題は、「高専における単位計算方法の見直し」であります。60単位を限度として大学と同じ単位計算方法を認める方向で検討が進んでいます。画期的なことではありますが、教育の質と量を落とさないこと、現在の制度との整合性、教育現場での混乱への配慮等、周到に準備する必要があります。最後の課題は高専間教員交流制度であります。高専教員の力量を高め、教育・研究の向上を図り、高専全体を活性化させるために、平成18年度より実施されます。派遣教員の選出及び受け入れについて本年度中に細部まで決定する必要があります。

教務主事として上記の課題に対処すると同時に、本来の使命である、優秀な入学生の確保、実力をつけた卒業生の輩出、中期目標の達成等、「着実な実行」を念頭において任期を全うすることを誓いたいと思います。

新任にあたって ー現在の心境ー



副校長(寮務主事) 上 原 敏 之

この4月から、寮運営を最優先の職務として携わることになりました。所属は一般科目で教科は化学です。

現在の雄志寮の状況をご報告します。定員333名のところ、現員322名（4月1日現在）となっています。まだ、11名余裕があるように見えますが、現在留学中の学生の分や寮父室、総代あるいは指導寮生を優遇しているため、実質空きがないのが現状です。

私はこの25年間様々な形でこの岐阜高専にかかわってきました。最初は技術職員として7年間、引き続き非常勤講師として8年間、さらに引き続いて現在に至っています。その間、学生を見続けてきて改めて言うまでもありませんが、本校の学生は全体として非常にまじめで優秀です。もちろん個々にはいろいろありますが、少なくとも私の高校時代より、まじめで優秀であることは間違いありません。化学を教えていても、『専門より化学を志してほしい。』と思う優秀な学生に数多く出会いました。

寮運営でも同様です。もちろん寮事務の方々のご協力は多大なものがありますが、基本的に寮生会行事は全て寮生自身が毎年引継ぎを行っていますので、学校側に提出する企画書もワープロで打たれたものが、すぐ担当寮生から提出されます。これがそのまま、学内の決裁に回され学校側の承認が得られます。

現在の寮生の中には、かつて化学を教えた学生も多く、その時は『授業中居眠りばかりしていて、どうしようもない。』と思いつつ、ひたすら起こし続けていた寮生が4、5年生になり、寮の行事を中心になって取り仕切っている姿を見ると、この高専5年間は決して勉強だけではない、勉強以上に社会に出てから大事なものを身に付ける時期だということ、そしてその能力を着実に身に付けているということを改めて実感しているところです。

高専5年間というのは、そういう人間形成のための重要な時期であると同時に、学生から社会人への意識変革に目覚める時期に相当し、しかも高校から大学という急激ではなく、5年間かけて自然に自覚していく様を見ると、この高専5年間一貫教育の真髄はここにあるのだということを改めて実感させられます。4、5年生とたまに学内ですれ違うと、「先生お久しぶりです。お元気ですか。」とか「寮務主事はどうですか。」と声をかけられ、「ありがとう。」と返すのが精一杯の状況です。寮内を見回っても、寮生から「お疲れ様です。」と言われ、『学生から心配されるようになったら終わりかな。』と思いつつ、寮生を含めて本校学生に感謝する日々です。そういう気持ちを忘れず、学生に接していきたいと思います。

このような平和な学校だからこそ、我々教員が安心して研究活動や地域貢献を果たせるのであって、その基盤には雄志寮があり、そこには優秀な寮生がいて、そして岐阜高専があると言っても過言ではありません。そういう気持ちで我々は今日も寮内を見回り、寮生に声をかけ続けます。保護者の皆様におかれましても、寮運営に更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

「学校はいま？」 一時の話題、課題を探る

名鉄揖斐線の廃止後の岐阜高専への交通アクセス

名鉄揖斐線、美濃町線、岐阜市内線、田神線の4線については、平成17年3月31日をもって廃止されることとなり、その代替バス路線について、沿線市町対策協議会において検討されてきました。その結果、次のとおり岐阜バスによる運行が、平成17年4月1日から予定されることとなりましたので、お知らせします。

1. バス路線

(1) 岐阜高専線 路線②

新岐阜・JR岐阜 → 岐阜高専 朝4本
岐阜高専 → JR岐阜・新岐阜 夕4本

(2) 大野北高線 路線①

大野バスセンター → 上真桑 → 加茂町 → 北高前 朝2本
北高前 → 加茂町 → 上真桑 → 大野バスセンター 夕2本

(3) 政田忠節線 路線③

新岐阜 → 忠節 → 加茂町 → 上真桑 → リバーサイドモール 1日17本
リバーサイドモール → 上真桑 → 加茂町 → 忠節 → 新岐阜 1日19本

(4) 大野真正北方線 路線④

新岐阜・JR岐阜 → 加茂町 → 上真桑 → リバーサイドモール 1日15本
リバーサイドモール → 上真桑 → 加茂町 → JR岐阜・新岐阜 1日16本

路線図及び時刻表は、本巣市ホームページ「名鉄揖斐線」代替バスへ

2. 岐阜高専への最寄のバス停

(1) 岐阜高専（路線②）

(2) 上真桑又は加茂町 岐阜高専まで徒歩15分（路線①、③、④）

3. 問い合わせ先

岐阜工業高等専門学校 学生課 学生係

TEL 058-320-1254

FAX 058-320-1256

入学にあたり親の思い

入学にあたって

1年保護者

二年前長男が高専に入学し、そして、本年二男も高専に入学することができました。

長男の入学式当日、なぜか妻の様子が少し変でした。妻は、「泣いてはいけない。泣いてはいけない。大切な旅立ちの日だもんね。」と何度も言いながら目頭を押さえていました。めったに涙を見せない気丈な妻の十年ぶりの涙だったのでしょうか、私もつられそうになったのを今でも鮮明に覚えています。

この妻の涙を息子は、何かを感じとっていたのか照れくさそうな表情をし、でも、男らしく親に涙を見せてはいけないと一生懸命我慢しているようでした。

また、未経験の学校・寮生活等の不安さの中で新学期が始まったようでした。

先輩や同学年の生徒さん達とうまくやっていけるのか、勉強はついていけるのかとても心配していましたが、三週間ぶりに我が家に戻った際、自分で使った食器を洗っている姿を見た時は驚きました。また、弟が入学・入寮の時「寮では、皆とうまくやる事が大事なんだ。」と兄がアドバイスをしているのを聞き、本当に寮に入れて良かったと実感しています。

これからも、高専に入学した目的を忘れず、2人とも自分の目標に向い邁進してほしいと願っています。

16歳の彼に思う事

1年保護者

中1の時から高専に入学したいという気持ちがあった様です。兄が受験していたからです。高専祭も見に行きましたし、TVで放送されたロボコンも何度となく見ていました。でも「すごいなあ～」の一言だけで何のリアクションも起こしていませんでした。気持ちの中にはあるものの、きっと遠い存在だったのかなあと感じていました。

他の高校がなんとなく中学の延長の様（逆にそれが安心感を持たせるのかも）な雰囲気なのに高専には独特な世界を感じていた様です。今思うと高専に入学したかったのかなあー？また、親が勧めていたからなのかなあと思う事がありました。

機械・電気・電子・環境・建築、どの科も専門的で自分が何科にむいているのか？何ができるのか？不安と憧れの未知数だったのではないのでしょうか。中3の受験の頃には針を刺せばパン！と弾けそうになるくらいに気持ちが膨らんでいた事と思います。とにかく挑戦してやろうだった。

息子は合格発表の日に自分の番号を目にして、震えが止まらず涙も出てきたといいました。特色化も受かっていましたが即答でした。今まで手の届かなかった物に手にした様な達成感でいっぱいだったようです。

ここからまたスタートだと思うと「コウセン」この響きは、今までとは違った世界へ飛び込んでいく気がしたそうです。一体何を勉強するのか？どんなやつらが集まってくるのか？女子は少ないんだろうとか、楽しいだろうかとか、また新たな不安と期待が沸いてきたようでした。

それから一ヶ月余過ぎ、はりきって通っています。親としては目先の事ではなく、この五年間を足がかりにして自分のやりたい事、将来を見据えて、意義のある実りのある五年間であってほしいと思っています。

教育後援会行事予定

教育後援会地区保護者懇談会 13:00～

- 11月5日(土) 飛騨地区(会場:高山市民文化会館)
 “ 東濃地区(会場:現在交渉中)
 11月6日(日) 滋賀県地区(会場:彦根勤労福祉会館)
 “ 岐阜地区(会場:本校)
 11月12日(土) 愛知県地区(会場:一宮市産業体育館)
 11月13日(日) 美濃・可茂地区(会場:アピセ・関)
 “ 西濃地区(会場:本校)

主な学校行事

- 6月18日(土) 寮生盆踊り大会
 7月2日(土) 第43回東海地区国立高専体育大会(陸上:豊田, ソフトテニス:鳥羽)
 3日(日) “
 9日(土) 第43回東海地区国立高専体育大会(主管:岐阜)
 10日(日) “
 16日(土) 保護者懇談会(学級個別懇談会:第1～4学年) 閉寮 16:00
 19日(火) 夏季休業始
 8月3日(水) 第40回全国高専体育大会(主管:群馬)
 “
 10日(水) “
 13日(土) “(バドミントン:東京都立高専)
 14日(月) “
 22日(月) 第12回全校高専将棋大会(会場:八王子)
 23日(火) “
 24日(水) “
 26日(金) 夏季休業終
 28日(日) 開寮 13:00
 29日(月) 開講
 9月5日(日) 高専見学会
 18日(日) 第2回全国高等専門学校デザインコンペティション2005(明石)
 19日(月) “
 10月9日(日) 第16回全国高専プログラミングコンテスト(米子)
 10日(月) “
 11日(火) 学生会行事(球技大会)
 17日(月) 授業参観・学級(個人)懇談週間
 18日(火) “
 19日(水) “ 学級懇談会(第1～4学年)
 20日(木) “
 21日(金) “
 29日(土) 高専祭公開日
 30日(日) “ ロボコン2005 第18回東海北陸地区大会(金沢)
 11月8日(火) 第4学年研修旅行
 9日(水) “ 第3学年研修旅行(一日)
 10日(木) “
 11日(金) “
 12月4日(日) ロボコン2005 高専部門全国大会(国技館)